

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

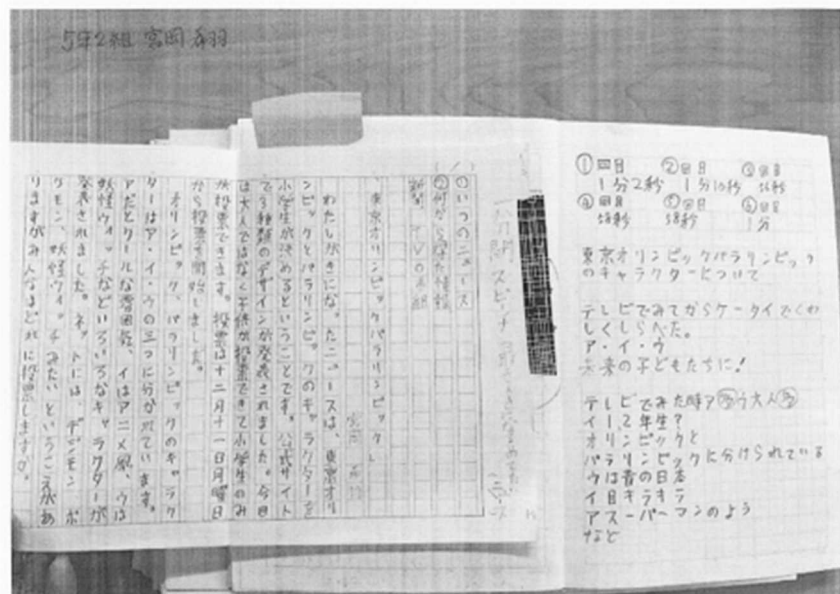
事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、III、V】
2 実施対象者	札幌市立二条小学校学校 第5学年・特別支援学級 78名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間、体育、道徳) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	児童がオリンピック・パラリンピックやスポーツの価値を学ぶことで将来に向かって成長し、生涯を通じて体を動かす意欲を高めるとともに障害のある人への理解を深める。
5 取組内容	校長講話、映像、学習教材を通してオリパラの価値について理解を深めるとともに、冬季オリンピックによる講話、札幌オリンピックミュージアムの施設利用、道徳の時間における学習、パラリンピックの種目を取り入れた体育科の学習を行った。 ○指導計画 [8時間扱い] 「全校朝会・昼の放送・遠足」 ・映像などを通して、オリパラについて興味をもち、種目などについて学ぶ。 「総合的な学習の時間」6時間 ・学習教材を使って、オリパラの歴史や意義について学ぶ。 ・札幌オリンピックミュージアムを訪問し、展示品の見学や体験コーナーの利用、冬季オリンピックによる講話を聞く。 「体育」1時間 ・パラリンピックの種目であるシッティングバレーボールに取り組む。 「道徳」1時間 ・オリンピックの穂積雅子さんの話から「強い意志」「人間愛・感

謝」について話し合う。



6 主な成果

- 札幌オリンピックミュージアムの施設の方から、オリンピックマークのある街の貴重さを聞くことで、札幌という街に愛着が生まれ、児童にとって札幌の好きな場所が増えた。
- 体育科の学習「体づくり運動」では、座ってバレーボールを行うことで、体を動かす難しさや楽しさを味わうとともに、パラリンピックの選手たちの競技精神に触れることができた。
- 冬季オリンピックの講話を通して、講師の生き方に触れ、あきらめない気持ちや支えてくれた方々への感謝の気持ちが自分自身の生きる力になっていることを知り、今の自分の生活を振り返ることで、これからの生き方に対する目標をもつことができた。
- 事業を通して、オリパラへの興味がわき、オリパラに対する自分なりの関わり方を見付ける姿が見られた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 講話をしていただいた冬季オリンピックの競技を行っている映像を見ることで、オリンピックの存在の大きさを感じ、競技への興味がわいた。講話をいただく前に映像を見ることでオリンピックへの質問もさらに具体的になると考える。 • オリンピックの講話の内容と事前学習が重なっていた。オリンピックの起源やオリンピックマークの意味など、学習教材で扱っている内容については、事前学習で行うことで、オリンピックへの質問の時間を確保できればと考える
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。